



みんなの声に
応えるまちづくり

熊沢あやり(自由民主党)
問 交通空白地区・交通不便地区、特に本町田にはバス便が少ない所があるが対策はどうなっているか。
答 いとこに道幅が狭ければ中型のバスを通せるかどうか、そのようなことを総合的に検討したいと考えています。

都市づくり部長 道路幅員の状況を確認し、路線バス運行の可能性について調査検討を進めていきます。

問 町三小から町三中の間にバスを走らせたらどうか。
都市づくり部長 今あるバスの組みかえ、通っていない



なかよし散歩道



証明書コンビニ
交付の利用促進

白川哲也(保守連合)
問 現在、印鑑証明書・住民票等各種証明書一枚あたりの発行コストが窓口交付は約三百円、コンビニ交付は約三千円という状況がある。コンビニ交付には保守料・使用料等固定費が生じるため、利用数が少ないと一枚あたりのコストがかさむ。利用者増加のための改善策を講じられたい。
市民部長 社会保障・税番号制度が実施されて個人番号カードが普及することによってコンビニ交付のアプリケーションを搭載していただく機会がふえると思います。コンビニ交付のサービスをより多くご利用いただけることが想定されます。現在、国から制度の詳細が発表されておらず、具体的な検討が難しいところですが、市としては、個人番号カードの普及促進と、これを契機にコンビニ交付の周知に一層努力をしていきたい。



DVの被害者
支援対策を！

いわせ和子(自由民主党)
問 DVの被害者支援対策として「配偶者暴力相談支援センター」の設置を。
市民協働推進担当部長 配偶者暴力相談支援センターの機能のうち、現在、男女平等推進センターでは相談業務を行い、その他の機能については他の関係機関と連携することと対応ができていますので、配偶者暴力相談支援センターを開設していくことは今のところ考えていません。

問 就学援助制度の中で、中学校の学校給食費の事前払いを後払いにする等の対応はできないのか。
学校教育部長 事前支払いにつきましては調理計画、食材の調達、給食費未納問題等の観点からお断りしているところですが、就学援助費の認定時期や精算方法など課題があり、今後研究課題として考えていきたいと思います。

吉田つとむ(保守連合)
問 町田市から多額の交付金等を受ける「町田市観光コンベンション協会」が観光バス事業を行うことは民間業者への圧迫になるのではないかと。
経済観光部長 今後は市内旅行業者と競合しないよう協会に要請いたします。



市の補助団体の
民業圧迫は疑問

建設部長 交通人身事故件数は大幅に減少しています。これは警察署、交通安全協会が行っている活動の成果でもあると認識しています。
市長 新たな目標を決めて交通安全協会、市役所なりが頑張っていきたいという趣旨です。新しい目標設定したいというのは交通安全協会の皆さんに対する一種お礼も含めて申し上げたつもりです。

問 交通事故の減少によって、町田市交通安全協会の役割は減少したと考えているのか。「交通安全の集い」における市長発言の意味は何か。



がん治療向上と
市の魅力向上を

渡辺巖太郎(自由民主党)
問 市民病院が今後求められる姿は、がん放射線治療と救命救急センターと考える。
病院事業管理者 今後、新規事業として検討するとなると、院内に検討委員会を設置することになります。この場合、できましたら院内からだけでなく、外部からの委員を含めて意見を聞きたい。
問 長崎屋跡地の次期展開に対する行政の後押しを求む。
都市づくり部長 所有者から緊急輸送道路に面している耐震化促進事業の助成金の申請がなされましたら直ちに予算化等の対応をしていきたい。
問 広告の専門家を登用し町田市の魅力を積極的に内外にPRし、来街者や定住者の増加政策を求めるがどうか。
市長 何か有効な分野でそういう方を採用することも一つの戦略だと思っています。



要支援者への介
護サービス守れ

渡場悟視(日本共産党)
問 医療・介護総合法案は介護保険給付から要支援者への訪問介護・通所介護サービス利用を外すことが狙われている。町田市は市民の不安の声をどう受け止めるのか。
いきいき健康部長 国のガイドラインが示されてから町田市高齢社会総合計画審議会において、専門家や市民の方からご意見をいただきながら、サービス低下にならないよう制度設計を進めていきたい。

問 北部丘陵に残された里山は貴重な資源だ。この地域を支えて来た農業者に対してどのように支援するのか。
経済観光部長 都市農地保全推進自治体協議会に町田市の全、都市農業の振興を図るため新たな法律の制定を考えているということですので、動きを期待していきたい。

市川勝斗(自由民主党)
問 地域防災計画を着実に実行する為、医師会等の協力を頂き、防災訓練を行ってみたい。
高橋副市長 市民病院で実施した災害医療地域連携訓練は医師会、歯科医師会、薬剤師会に加え調剤薬局にもご協力をいただいた先進的な訓練を行いました。この訓練を振り返り今後も災害拠点連携病院との合同訓練など、より充実したものにしていき、地域防災計画の検証を行うとともに一歩ずつレベルの高い訓練等を行いながら、体制を整えていきたいと考えています。



災害対策と業務
効率化について

問 小学校給食において、業務効率化の点から民間委託を導入してみたい。
教育長 学校給食を安定的に継続していくため、一五年から正規調理員の退職動向に合わせて調整業務の委託化を進めていく予定です。

三遊亭らん丈(自由民主党)
問 町田駅の帰宅困難者対策を進めるため、他の主要駅と同様に協議会を通じて計画を策定すべきである。
防災安全担当部長 駅周辺に大きな社屋、施設を持つ企業等の協力が必要となり、今後計画策定に向けて協議を進めていきたいと考えています。
問 市立小中学生の自殺を未然に防ぐため、教員にも積極的にゲートキーパー研修を



町田駅の帰宅困
難者対策強化！

問 土曜学習へのニーズの把握を早急に進めるべきだ。
教育長 保護者や地域の皆様に対して土曜授業のアンケートを行っています。これまでに把握できなかった声も直接把握するよう努めます。



子ども子育て
の充実を

池川友一(日本共産党)
問 子ども子育て支援新制度移行について不安や戸惑いが聞かれるが準備・対応状況はどうなっているか。
子ども生活部長 条例等の策定について検討を進めています。九月定例会に議案を提出する予定です。国が定める基準に市独自の基準を上乗せするかは現在検討中です。
問 商店版住宅リフォーム

問 商店版住宅リフォームの補助制度の実現を求めるがどうか。
経済観光部長 商店街、住宅・造園相談窓口、そういったところでニーズを調査していければと考えています。

問 制度設計も当初の論理破たんした市立公園駐車場有料化は中止すべきだがどうか。
都市づくり部長 利用の多い土日、休日は時間に応じた料金をお願いすることで公平に利用できるよう、有料化の継続が必要と考えています。



障がい者の就労
先確保について

石井くにのり(まちだ市民クラブ)
問 市民の不安に対応するためリニア中央新幹線事業に関して、市でも常設HPを作っているか。
政策経営部長 他市の例など参考にしながら必要な内容について研究しまして、情報提供に努めていきたいと考えています。
問 ご健康な高齢の転入者向けに、健康維持の情報提供冊子を作っているか。
問 障がい者事業推進にあたり公有地の確保等、市も民間と同じ立場で作っては。地域福祉部長 施設をつくる必要性に関しては非常に痛感しています。過去の経緯を含めて、できる限りの手段に関して協力し、施設の建設に努力していきたい。

問 障がい者事業推進にあたり公有地の確保等、市も民間と同じ立場で作っては。地域福祉部長 施設をつくる必要性に関しては非常に痛感しています。過去の経緯を含めて、できる限りの手段に関して協力し、施設の建設に努力していきたい。



ごみ袋値下げで
負担の軽減を

佐々木智子(日本共産党)
問 これまでごみ減量に協力してきた市民の経済的負担を軽減するために、ごみ袋の値下げをすべきだがどうか。
環境資源部長 さらなる値下げは考えていません。
問 すみれ教室(児童発達支援センター)の認可通園定員の拡大と親子通園の利用回数を増やすべきだがどうか。
子ども生活部長 どのような領域がどこにどれだけ求められるのかをよく分析した上で事業展開の方向を考えていくことを考えています。
問 木曾山崎団地地区の新たなまちづくりを問う。
政策経営部長 新たな地区計画で学校跡地には防災主要拠点、健康増進、文化関連拠点としても活用を図ることが可能となり、住宅地区及び団地のセンター地区では子育て施設や高齢者施設等の立地が可能となっています。

傍聴を希望される方は市役所三階の

議事室と傍聴

室と傍聴

本会議・委員会のインターネット放映を行っています。